

ホンシメジの林地接種法

ホンシメジはどんなきのこ？

ホンシメジはアカマツやコナラなどの根にくっつき、これらの樹木から養分をもらって成長します。

こうした生活をするきのこを「菌根性きのこ」と呼びます。

マツタケもアカマツから養分をもらう菌根性のきのこです。



接種により発生したホンシメジ

ホンシメジはどういったところに生えるか

西日本ではアカマツ林、アカマツ-コナラ林混交林に多く発生し、マツタケ林にも発生します。地域によってはアカマツの混じらないコナラ、ミズナラ林に発生することもあります。また、ウバメガシ林、クヌギ林に発生することもあるといえます。

比較的マツタケに似た環境を好むため、落ち葉や腐植(葉っぱの腐ったもの)の溜まった場所では生えにくいといわれています。

ホンシメジを植える準備

長い間放置された山では、ホンシメジがくっつけない樹木が多くなり、地面にも落ち葉の腐ったものが厚く積もっています。こうした場所ではホンシメジが生え難くなっていますので、せっかく植えてもホンシメジが生えなかつたり、生えても長続きしません。

そこで、ホンシメジを植え込むにあたり、林を手入れしてホンシメジが好む環境に作り変える必要があります。

林内の整理

- ・ホンシメジと菌根を作る樹種(アカマツ、コナラ、ミズナラ、クヌギなど)以外を伐倒する。
- ・枯れ木、被圧木、衰弱木は除去する。
- ・落葉腐植層が厚いところは、かき取り、2cm以下とする。
- ・かき取った落葉腐植層、除伐木は区域外に搬出する。

※ホンシメジの増殖には、地表に溜まった落葉、腐植を取り除くのが有効であることが示されています。すでにホンシメジが発生している場所でも、こういう施業を行うときのこの発生量が増えることが確かめられています。

補正施業

2～3年おきに、除伐した株から生える新芽を整理する。

落ち葉が溜まる場所では、5年に一度程度、きのこが発生しない時期に地表搔きをした方が良い。

ホンシメジの植え付け

1)用意するもの

苗木： アカマツ取り木苗、ウバメガシ取り木苗、もしくはコナラ造林用苗木

コナラ造林用苗木はあらかじめ細い根をすべて取り除いておく

種菌： ホンシメジの菌を土で培養したもの 駒菌に相当

道具類:クワ、剪定ばさみ

2)ホンシメジの植え込み手順

1. 施業を行った林に植え付けのための穴を掘る。

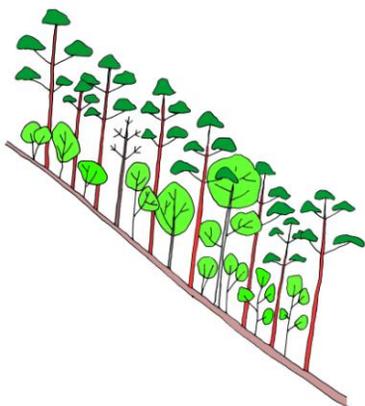
2. 出てきた根の傷付いた部分を切り戻す

3. 穴の中に苗木と種菌とを入れる。このとき種菌は苗木の根に接するように置く。また、穴を掘ったときに出てきた根も苗木の近くに這わす。

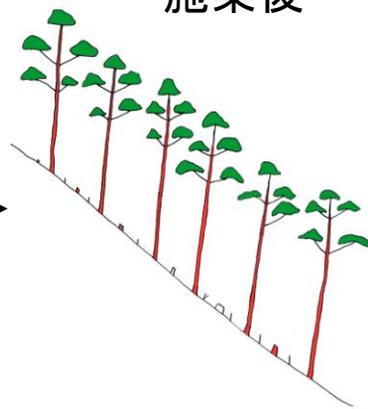
4. 掘った土で埋め戻す。

ホンシメジ接種前に行う林の手入れ

施業前



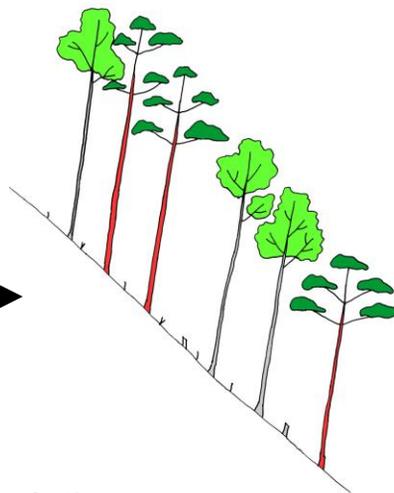
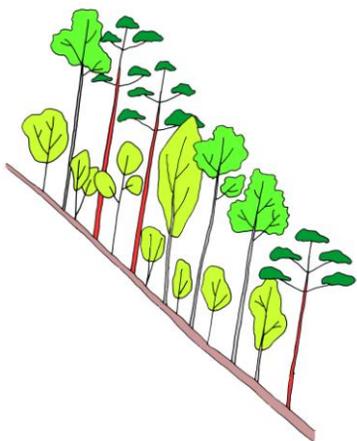
施業後



アカマツを主体とした林

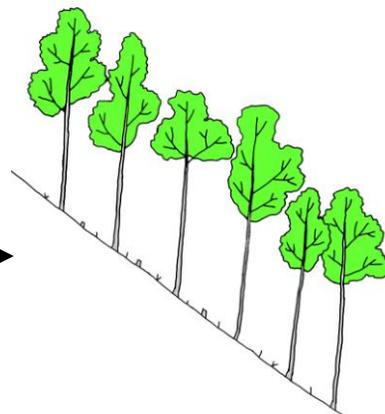
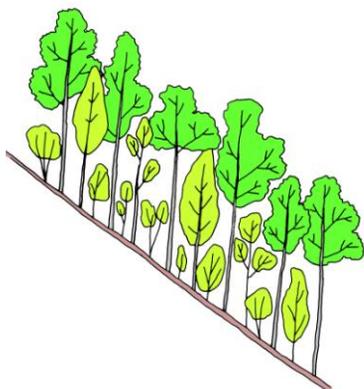
- ・アカマツ以外の広葉樹の除伐
- ・アカマツの本数調整、枯れ木の除去
- ・落ち葉、腐植層の除去

アカマツとコナラを主体とした林



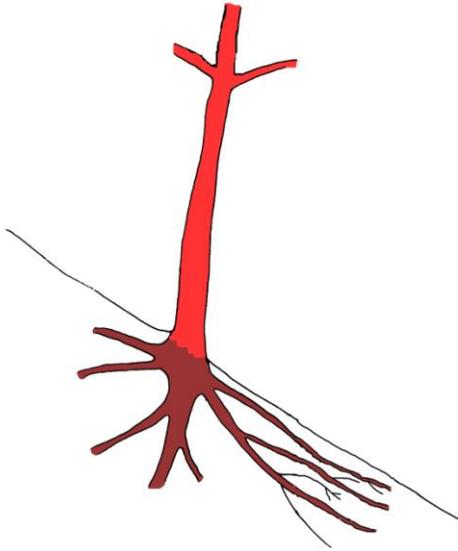
- ・アカマツ、コナラ以外の広葉樹の除伐
- ・落ち葉、腐植層の除去

コナラを主体とした林

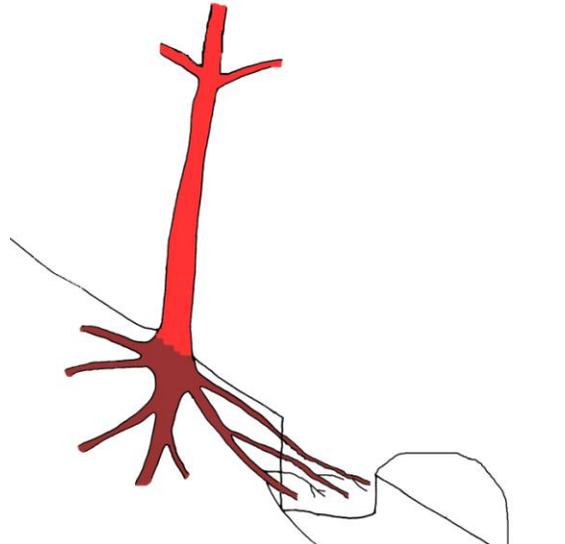


- ・コナラ以外の広葉樹の除伐
- ・落ち葉、腐植層の除去

ホンシメジの植え込み手順



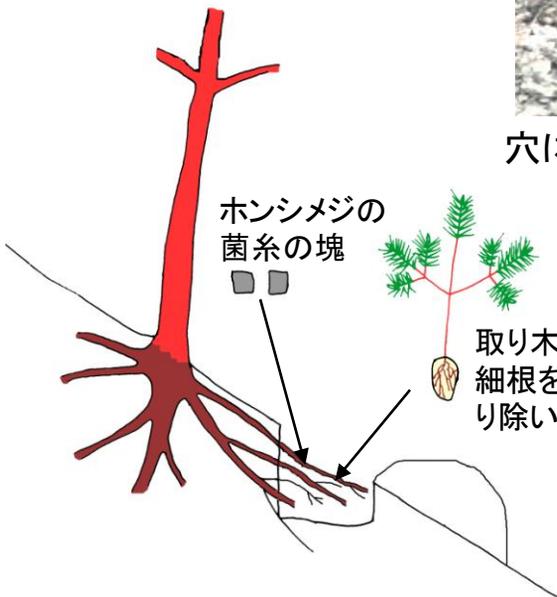
1. 施業した林



2. 接種する林に穴を掘る
傷付いた根は切り戻す



穴に入れた苗木と菌

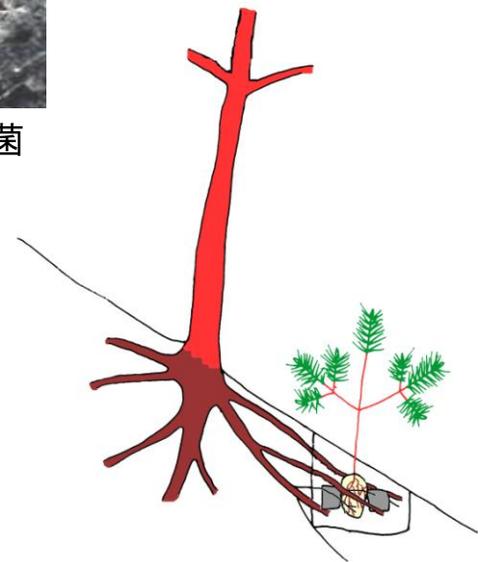


ホンシメジの
菌糸の塊

取り木苗もしくは
細根をすべて取
り除いたコナラ苗

3. 掘った穴に取り木苗もしくは細根をすべ
て取り除いたコナラ苗とホンシメジの菌糸
の塊を植える

ホンシメジは苗の根に接するように置く
また、樹木の根も苗木と菌の近くに誘引
する



4. 穴を掘ったときの土で埋め戻す